



すまいるらんど日帰り旅行（セントレア、めんたいパーク） 5/22（金）

あゆみの家

No. 108号

高齢の障害者に対する支援」

障害者総合支援法の施行後三年を目途とした見直しについては、現在、厚生労働省の社会保障審議会障害者部会において検討が進められています。

検討課題としては、①常時介護を要する障害者等に対する支援、②移動の支援、③就労支援、④支給決定の在り方、⑤意思決定支援・成年後見制度の利用促進在り方、⑥意思疎通支援の在り方、⑦精神障害者に対する支援の在り方、⑧高齢の障害者に対する支援の在り方、⑨障害児支援、⑩その他の障害福祉サービス等の在り方が挙げられています。

四月二十八日に開始された障害者部会では四〇を超える団体からのヒアリングを経て、①については七月七日、②と③については同二四日、⑧は同二四日に既に検討を終えました。

特に、最近さまざまな所で話題になっている高齢の障害者に対する支援については、障害者総合支援法第七条の介護保険優先の原則によって各地で発生している問題や、「親亡き後」の地域での生活継続など、多くの論点が掲げられています。部会における検討内容の詳細は不明ですが、出席委員からは「六五歳以上の障害者へのサービス提供について、保険優先の原則であっても、「一律に介護保険サービスを優先するものではない」とされているので、利用者が必要としているサービスの選択だけでなく、本人の自己決定を最優先すべきであり、それを実現できる仕組みが必要」といった意見が出されたようです。障害者部会の今後の動きに注目していききたいと思います。

言葉の力

理事 名和 桂子



新約聖書ヨハネによる福音書の書き出しは 初めに言（ことば）があった。言（ことば）は神と共にあった。言（ことば）は神であった。言（ことば）の内に命があった・・・とあります。もちろん、言（ことば）はイエス・キリストのことをあらわしています。イエス様が語られる言葉に命があって人の罪をゆるし、また、悪から救う力がありました。

私たちの言葉にはそのような力はありませんが、言葉は人間である私たちに唯一託された宝であると思っています。私は最近心配していることがあります。私たちが大切な言葉をあまり用いなくなっているのではないかとことです。いわゆるコミュニケーション不足ということです。私はスーパーマーケットへ毎日のように買い物に出かけます。小さい子ども連れのお母さんたちとよく出会います。子どもが大好きな私はいつも気になって見ているのですが、にこにこきげんな子どももいればすやすや眠っている子どももいます。でも、なかにはぐずって店内中響き渡るような大きな声で泣き叫んでいる子どももいたりして様々です。私が気になることはお母さんの子どもたちへの「言葉かけ」があまりにも少ないということです。この間

も三歳くらいの男の子がカートに乗せられレジで並んでいました。窮屈なのか 降りたい、降りたい。」とお母さんの顔を見ながら訴えていましたが、お母さんはたしなめるでもなく降ろしてあげるでもなく、知らんぷりです。一緒に来ていたお父さんがどこからかとんできて降ろして遊んであげていました。なんだかほっとしましたが、普段家ではどうなのでしょう。この間もテレビの番組でスマホから目が離せない母親の悩みについて取り上げていました。そのため、子どもの相手も十分でなくなっている母親が増えているのだそうです。他には、喫茶店に入ったカップルが言葉も交わさず、それぞれが雑誌を読みふけているとか、ご夫婦でも同じ家にいながらメールで会話をするなどの話も聞いたことがあります。子どもたちもゲームさえしていればけんかもせずおとなしくいい子でいてくれます。私はこんな状況に、ある種の危機感を覚えてしまいます。

ラジオのコマーシャルで聞きました。

あなたのその一言が私を変えました。人間は言葉と共に生きるのです。」

言葉を交わすことによって相手とのつながりが生まれ、心が通い合うと思うのです。私たちに与えられた大切な宝物、私たちにゆだねられた言葉の力をもっともっと有効に、有意義に、そして積極的に用いていきたいと思っているこの頃です。あゆみの家の中でも楽しい会話がもっととびかう毎日であってほしいと願っています。

『ひとり一人のニーズに寄り添うために』

第二あゆみの家 生活支援員 高木 雄太

昨年度までの第二あゆみの家は、一階フロアは男性、二階フロアは女性という生活をしていました。

第二あゆみの家も一九八五年に開所し三〇年という年月を重ねてきました。開所当初から生活をしている方もいれば最近になって新しく仲間になった方も見え、年齢層も二〇代、八〇代までと幅広いものとなっています。少しずつ高齢化が進むなかで利用者さんの生活リズムが今まで通りいなくなっている部分もあり利用者さんの生活のしづらさが多くなってきたのが昨年度までの課題でした。

そういった課題を解決すべく今年度から一階は若い利用者のグループ、主に発達障がいを持っている方、二階は高齢者グループという形で住み分けを計画してきました。私たち支援者は住み分けをする上でまず各利用者さん思いに寄り添い反映できるように会議などを重ねてきました。四月に入りいざ住み分けをするとなったときに果たして利



二階の食事場面

用者さんに受け入れてもらえるのだろうかと不安を抱えていました。しかし、なんとみなさんが何事もなかったかのように受け入れてくれ今までよりも過ごしやすい環境に喜ばれる姿も見られるほどでした。昨年度の課題であった生活の中での制限が解消されたことがこの住み分けの成功の一つでもあったのかと思います。今の形を見ることが若い利用者の方からしてみれば高齢の方を待たなければいけない不満、高齢の方からしたら若い方に合わせていかなければならない体力面での難しさなどがあつたんだということを感じました。

食事に関しても一階と二階それぞれで食事を食べられるようにしてみました。これによって例えば二階の高齢の方は自分のペースで食べることができるようになり、昨年度より食事が大幅に増えた人もいるなど食事面でも大きな改善が見られています。

しかし、第二あゆみの家はこれからも高齢化が進んでいきます。施設としてはトイレや段差解消など細かな部分で見直さなければいけないことも多いかと思っています。また一方では発達障害の方への専門的なスキルが求められていきます。

私たちは変えられない建物構造の中で、職員の創意工夫を通して利用者のQOLの向上ができた成功体験を共有し、新たな課題に挑戦していきたいと思っています。

新しい体制になった「ぐっどらんど」のご紹介

ぐっどらんど 生活支援員 右馬野 将高

今年度より、それぞれ別の事業所であった「ぐっどらんど」と「すまいるらんど」がひとつになり、新たな「ぐっどらんど」の事業所として活動を始めています。利用者の皆さんのメンバー構成や各グループの支援の体制に大きな変化はありませんが、昨年度までそれぞれの事業所で取り組んでいた支援を一つにすることで連携を強め、多様なニーズに对应していくことができればと考えています。このページでは各グループの最近の様子をご紹介します。

「ぐっどらんど」

ぐっどらんどは、地域の中に開設された日中活動の場という特色を活かした取り組みを続けています。開設以来、階ではクッキーの製造販売を行っており、ぐっどらんどというクッキーのイメージが強いのですが、二階の工賃作業もぐっどらんどの大きな活動の柱となっています。工賃作業では、各取引先企業より注文を受けて作業に取り組んでいます。

たくさんの方の受注がある日には目が回るような忙しさにもなりますが、利用者それぞれに持ち味を発揮して納期までに作業を仕上げて納品にも同行、「企業からの受注ニーズに对应していくことを通して信頼を得て、さらなる活躍の機会を与えていただく」という工賃作業ならではの地域との関係が育まれています。こうした関係を保ち、これからも受注作業に励むことが



ができるよう支援を続けていきたいと思います。

「すまいるらんど」

すまいるらんどは作業を中心としたグループで、企業の下請け、工芸作品、食品作りに取り組みます。また、週に一度近くの公園へ散歩に行き体力作りをする時間や、一週間のお疲れ様会として仲間と一緒にしゃべりをする時間があります。

地域交流では、六月に毎年恒例となっている近所の方の畑でのジャガイモ掘りをさせていただきました。貴重な体験に普段では見ることのできない活きたけな表情が見られ、良い機会となりました。今後も地域の方との交流も大切に、また日々の活動を通して楽しめ、仲間たちが元気に通所できる事業所を目指していきます。

(生活支援員 浅井 愛加)

「とうだいまえ」

地域の中に、喫茶＆リサイクルの店として事業所が開設して、この七月で四年目になるとうだいまえです。常連客も出てきて、地域に定着してきたことを実感します。また、今年四月からは、「アサシス」が、「とうだいまえ」に加わりました。喫茶業務をする「喫茶グループ」と、工賃作業・自主製品作りをする「アサシスグループ」がそれぞれ別の活動を展開しています。普段は、作業内容や、仕事に取り組みむペースが異なるため、別々に活動をしていきますが、年に何回かは、日帰り旅行・合同食事会など、両グループが一緒に楽しむ行事もあります。今までは、お互い少人数での活動でしたが、同じ建物の中で毎日顔を合わせることで仲間の意識が生まれ、お互いが刺激しあうことで、ますます、活性化することを願います。

(生活支援員 近藤 清子)

デイセンターあゆみの家の運動会！」

デイセンターあゆみの家 生活支援員 馬淵 愛子

五月三〇日の土曜日の通所日にお楽しみ活動として「運動会」を行いました。昨年何年かぶりに行い、今年も開催しました。利用者のみなさんに、どのような種目を行いたいかを募り、たくさん意見を出していただきました。その中から、玉入れ、スプーンリレー、パンくい競争の種目に決まり、各グループ対抗の応援合戦も行うことになりました。各グループで担当の種目を割り振り、製作や応援合戦の練習、買い物、会場づくりまで利用者の方主体で準備を進めてきました。当日は、応援合戦から始まりました。どのグループも練習の成果を見せられ、個性あふれる応援合戦でした。三種目ともみなさん真剣に取り組み、笑いがあったり、拍手が上ったりと大盛り上がり運動会となりました。利用者の皆さんの笑顔がた



玉入れ合戦



応援合戦（サボテングループ）



スプーンリレー



応援合戦（あじさいグループ）



パンくい競争

出来事ピックアップ



オリーブ
(5/19) アクアト親子外出



第二あゆみの家
(5/30) 花いっぱい運動



すまいるらんど
(6/4) いもほり



林町デイセンター
(6/12) 宿泊体験



ぐっどらんど
(6/19) AGF工場見学

貸借対照表

2015(平成27)年3月31日現在

(単位:千円)

資 算 の 状 況	資 産 の 部		負 債 の 部	
		決 算 額		決 算 額
	流動資産	370,014	流動負債	23,689
	固定資産	1,224,091	固定負債	49,125
	基本財産	568,052		
	他の固定資産	656,039	負債の部合計	94,732
			純 資 産 の 部	
			基本金	247,662
			国庫補助金等 特別積立金	187,935
			その他の積立金	571,677
			次期繰越活動 収支差額	492,098
			純資産の部合計	1,499,373
	資産の部合計	1,594,105	負債及び純資産 の部合計	1,594,105

社会福祉法人あゆみの家
二〇一四(平成二六)年度
決 算 報 告

社会福祉法人あゆみの家では、二〇一五年五月二三日、決算理事会が開催され、二〇一四年度事業報告、及び決算が承認されました。その決算内容を報告いたします。

二〇一四年度は、ナイトケア用住宅、やっどらんど」建て替えのための土地、また、グループホーム用の住宅も一軒購入することができました。

一年を通して各施設、事業所の活動が滞りなく実施できましたこと、皆様のお祈りとご支援に感謝申し上げます。

あゆみの家事業活動内訳表

(自) 平成26年 4月 1日 (至) 平成27年 3月31日

社会福祉法人あゆみの家													
勘 定 科 目		本部会計	デイルーあゆみ	第二あゆみの家	オリーブ	おおぞら	きずな2006	移動支援事業	相談支援事業	林町デイセンター	ぐっどらんど	すまいるらんど	合計
サ ー ビ ス	収益												
	障害福祉サービス等事業収益		102,987,830	277,706,500	18,279,746	8,706,260	147,986,880		8,334,010	61,038,483	39,350,961	29,163,137	693,553,807
	その他の事業収益		611,631	1,155,969	1,115,094	1,563,900		3,642,314	6,690,000	1,238,250			16,017,158
サ ー ビ ス	経常経費寄附金収益	7,208,891	52,000	57,000	7,000		45,000			18,000	18,000	12,000	7,417,891
	その他の収益		231,340	3,299,366									3,530,706
	サービス活動収益計(1)	7,208,891	103,882,801	282,218,835	19,401,840	10,270,160	148,031,880	3,642,314	15,024,010	62,294,733	39,368,961	29,175,137	720,519,562
ス 費 用	人件費	320,000	68,016,699	167,740,845	15,855,892	16,991,658	87,548,905		16,598,734	39,080,382	22,652,286	23,257,058	458,062,459
	事業費		8,922,445	28,613,218	1,785,348	320,241	18,169,309		145,322	3,816,440	6,898,605	5,715,950	74,386,878
	事務費	1,950,092	7,672,549	25,606,496	1,408,233	854,798	13,327,095		1,048,080	3,571,218	1,404,833	5,453,424	62,296,818
増 減 の 部	減価償却費		7,381,313	10,309,993	651,306	574,831	4,975,125			4,376,307	727,276	985,824	29,981,975
	国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 4,195,866	△ 3,211,951		△ 150,000				△ 3,122,858	△ 348,600	△ 326,883	△ 11,356,158
	その他の費用		231,340	313,982									545,322
サ ー ビ ス	サービス活動費用計(2)	2,270,092	88,028,480	229,372,583	19,700,779	18,591,528	124,020,434	0	17,792,136	47,721,489	31,334,400	35,085,373	613,917,294
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,938,799	15,854,321	52,846,252	△ 298,939	△ 8,321,368	24,011,446	3,642,314	△ 2,768,126	14,573,244	8,034,561	△ 5,910,236	106,602,268
サ ー ビ ス	借入金利息補助金収益												
	受取利息配当金収益	18,301	31,930	97,507		316	170	100	486	7,471	2,433	593	174,033
	その他のサービス活動外収益	950,488	1,588,041	2,680,913	81,548		136,576			60,310	4,636,323	3,797,052	13,931,251
ス 費 用	サービス活動外収益計(4)	968,789	1,619,971	2,778,420	81,864	170	151,302	100	486	67,781	4,638,756	3,797,645	14,105,284
	支払利息			49,978						111,215			161,193
増 減 の 部	投資有価証券売却損												
	その他のサービス活動外費用												
	サービス活動外費用計(5)	0	0	49,978	0	0	0	0	0	111,215	0	0	161,193
部	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	968,789	1,619,971	2,728,442	81,864	170	151,302	100	486	△ 43,434	4,638,756	3,797,645	13,944,091
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	5,907,588	17,474,292	55,574,694	△ 217,075	△ 8,321,198	24,162,748	3,642,414	△ 2,767,640	14,529,810	12,673,317	△ 2,112,591	120,546,359
特 別 増 減 の 部	収益												
	施設整備等寄附金収益		4,539,000	680,000								1,783,000	7,002,000
	固定資産売却益		800,000	80,000									880,000
サ ー ビ ス	サービス区分間繰入金収益	1,260,000				7,620,000			4,900,000		30,000,000	3,666,000	47,446,000
	サービス区分間固定資産移管収益												
	その他の特別収益	3,000,000											3,000,000
ス 費 用	特別収益計(8)	4,260,000	5,339,000	760,000	0	7,620,000	0	0	4,900,000	0	30,000,000	5,449,000	58,328,000
	固定資産売却損・処分損			1	56,882		6,051				2		62,936
	国庫補助金等特別積立金積立額		4,539,000									1,783,000	6,322,000
増 減 の 部	災害損失												
	拠点区分間繰入金費用			1,050,000									1,050,000
	サービス区分間繰入金費用		13,666,000	28,900,000			1,260,000	3,620,000					47,446,000
サ ー ビ ス	その他の特別損失						160,000				△ 1	750,000	909,999
	特別費用計(9)	0	18,205,001	30,006,882	0	0	1,426,051	3,620,000	0	0	1	2,533,000	55,790,935
増 減 の 部	特別増減差額(10)=(8)-(9)	4,260,000	△ 12,866,001	△ 29,246,882	0	7,620,000	△ 1,426,051	△ 3,620,000	4,900,000	0	29,999,999	2,916,000	2,537,065
繰 越 部	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	10,167,588	4,608,291	26,327,812	△ 217,075	△ 701,198	22,736,697	22,414	2,132,360	14,529,810	42,673,316	803,409	123,083,424
	前期繰越活動増減差額(12)	113,923,733	48,087,380	25,330,609	3,745,805	2,285,007	58,938,484	253,970	1,575,100	41,850,177	39,107,612	6,569,963	341,667,840
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	124,091,321	52,695,671	51,658,421	3,528,730	1,583,809	81,675,181	276,384	3,707,460	56,379,987	81,780,928	7,373,372	464,751,264
活 動 部	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	13,000,000	0	0	0	0	0	13,000,000
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増 減 の 部	次期繰越活動増減差額	124,091,321	52,695,671	51,658,421	3,528,730	1,583,809	94,675,181	276,384	3,707,460	56,379,987	81,780,928	7,373,372	477,751,264
	(17)=(13)+(14)+(15)-(16)												

行事予定

8/19 (水) おたのしみ活動 -お菓子作り-(デ イセンター)
 9月未定 一日外出 (すまいるらんど)
 10/10(土) あゆみの家祭

最近のできごと(4/1 ~ 8/8)

4/2 (木) 花見外出 (林町デ イセンター)
 4/4 (土) 創立記念行事
 4/4 (土) 花見外出 (ぐっどらんど)
 4/25、26 (土・日) あゆみの家バザー
 5/19 (火) 親子日帰り旅行 ~アクト~ (オリーブ)
 5/22 (金) 日帰り旅行 (すまいるらんど)
 5/25 (月) 大垣ケーブルTV アルミ缶回収取材
 (第二あゆみの家)
 5/30 (土) おたのしみ活動 (デ イセンター)
 6/5 (金) 宿泊体験③ (林町デ イセンター)
 6/12 (金) 宿泊体験④ (林町デ イセンター)
 6/19 (金) 日帰り旅行 (ぐっどらんど)
 6/21 (日) 登録者向け交流会 (就・生センター)
 8/8 (土) あゆみの家夏祭り (第二あゆみの家)

あゆみの家バザーの会計報告と御礼

4月25、26日の両日、垂井町文化会館で行われたバザーについて、ご報告をします。

総売上げ額 1,303,470円

皆様方の御働きとご協力に心より御礼申し上げます。これから一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ボランティア(2/1 ~ 5/30)

延べ: 76回 77人

(団体: 27人・個人: 50人)

<ボランティア団体名、学校名> ※順不同
 大垣友の会、養老町赤十字奉仕団

ふれあい交流(2/1 ~ 5/30)

延べ: 76回 77人

<学校名>

合原小学校

養老公園ホームの開設

この度、2015年7月27日より養老町内に「養老公園ホーム」を開設しました。大垣市稲葉地区にてあった「いなばホーム」よりこのホームへ移転しました。

ホームの場所は、ホーム名にもありますように、養老の滝で有名な養老公園の近くです。利用者・職員共々、新たな方々との出会いを楽しみにしております。「養老公園ホーム」、どうぞよろしくお願い致します。



養老公園ホーム

編集後記

最近のことですが、一日の仕事が終わり、外へ出ると東の方に虹がでていました。弓のようになっていたのですが、とてもかわった虹で、両端が切れていて、宙に浮いているような形をしていました。おもしろい虹ということもあって、しばらく虹を眺めていました。

キリスト教では、虹は神さまの守りのしるしです。ノアという人の時代に神さまは虹をつくり、私たち人間を守るとおっしゃってくださいました。あゆみの家は、他の場所に比べて虹がたくさんでるところです。虹を眺めながら神さまが毎日、毎日、あゆみの家の利用者を守ってくださっているのだと改めて感じました。これからも神さまの守りが豊かになりますように…。祈りつつ。(伊藤)

編集: 社会福祉法人あゆみの家

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2066-2

Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

URL <http://www.mirai.ne.jp/~ayumi>

E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

グループホームのご案内

● あゆみホーム

Tel 0584-82-3056

● 青柳ホーム

Tel 0584-89-6231

● めぐみホーム

Tel 0584-22-4345

● 綾野ホーム

Tel 0584-92-2405

● 東神田ホーム

Tel 0584-22-2264

● 表佐ホーム

Tel 0584-23-3305

● 岩手ホーム

Tel 0584-22-3032

● 大門ホーム

Tel 0584-22-5079

● 養老公園ホーム

Tel 0584-34-3170

● あいかわホーム

Tel 0584-23-0822

林町デイセンター 〒503-0015 岐阜県大垣市林町7丁目142-1 / TEL 0584-47-9920